

序 文

組織が停滞し硬直化が起こると当然、新しい芽は育ちにくく、結果的にその組織は衰退していくことになる。躍動感あふれる組織を作り上げ、将来の発展を望むのは、組織に属する者の共通の願いであろう。そのためには、現状を知り、課題を整理する必要がある。

岐阜大学医学部では、平成 6 年 2 月に「岐阜大学医学部・附属病院の現状と課題」第 1 号を発行した。その後、2 年ごとに同名の冊子を第 2 号から第 4 号まで発行し、自らの足元を見つめ直してきたつもりである。

第 4 号を平成 12 年 10 月に発行してから、約 3 年が経過した。この間、本医学部にとって最大の変化は、平成 12 年 10 月の看護学科の設置（平成 13 年 4 月から入学生を受け入れ）、平成 14 年 4 月の大学院独立専攻「再生医科学」の設置ならびに医学科の大講座への移行であった。これら内部の枠組みの変化とは別に、平成 16 年 4 月からの独立行政法人化の動きが周囲を取り巻いている。また、医学科と医学部附属病院の岐阜大学本部地区への統合移転が目前に迫った。

このような周辺環境および内部環境の中で本医学部がどのように変化してきたかを整理し、今後の発展への礎とすべく、「岐阜大学医学部・附属病院の現状と課題」第 5 号を発行することにした。回顧が目的ではなく、あくまで飛躍のための現状整理である。本書を通して医学部および医学部附属病院が将来の方向性を定め、一丸となって組織を発展させることができればと願っている。もちろん、組織のための個人犠牲を強調するものではなく、個人が生き生きしてこそその組織の活性化であることは言うまでもない。

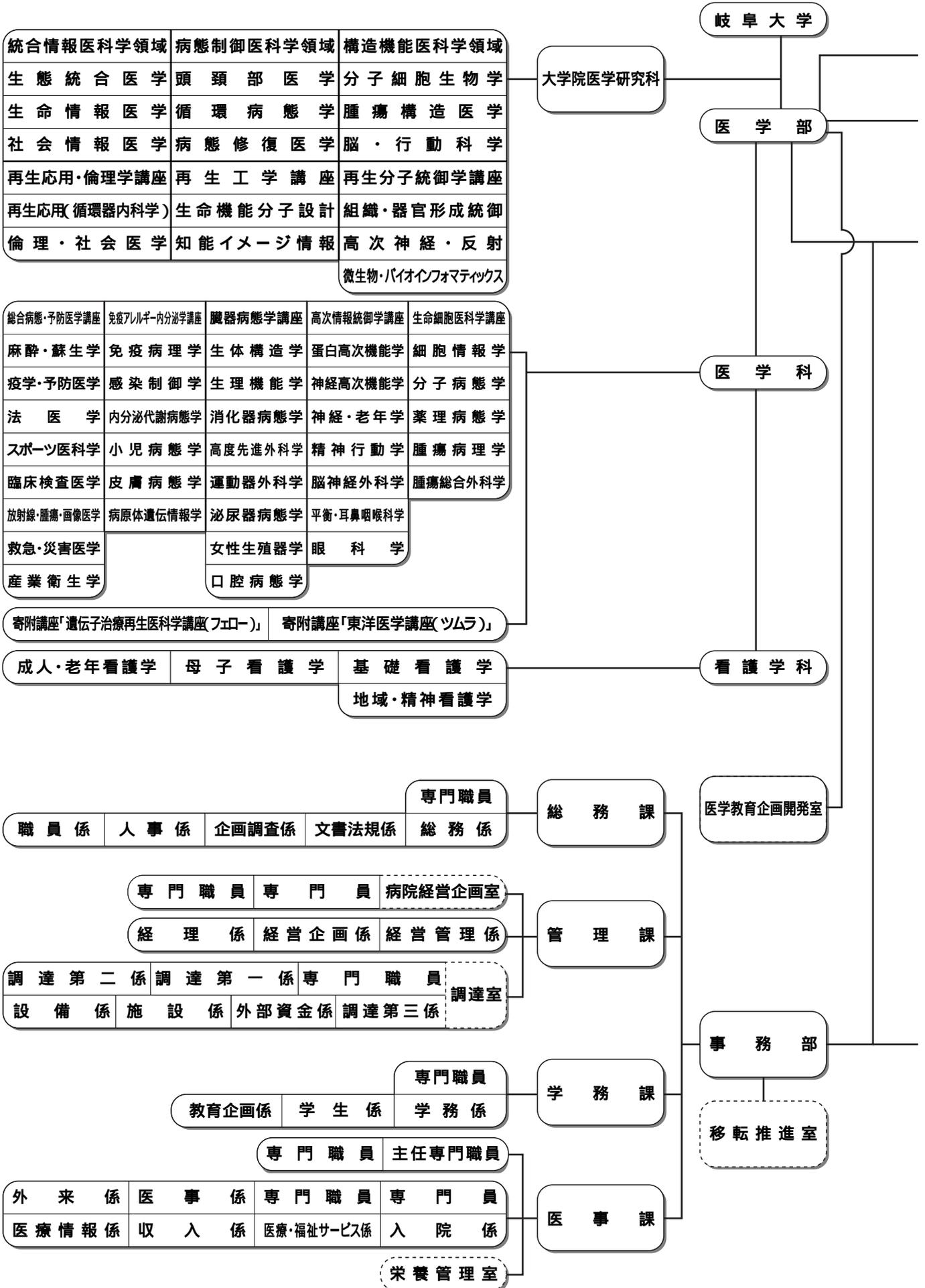
本書をご覧になる諸氏におかれては、私ども岐阜大学医学部・同附属病院のためにご批判ならびにご指導を賜りたく、ここに御願する次第である。

この第 5 号の発行に当たり、編集作業その他で尽力いただいた自己評価実施委員会作業部会委員ならびに担当事務職員の方々に深謝する。

岐阜大学医学部長

清水 弘之

機 構 図



[注] 内は学部内措置

医学教育開発研究センター
(全国共同利用施設)

附属病院

危機管理室

医療安全管理室

診療科

第 1 内 科	第 2 内 科	第 3 内 科
高 齢 科	第 1 外 科	第 2 外 科
産 科 婦 人 科	整 形 外 科	脳 神 經 外 科
眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	皮 膚 科
泌 尿 器 科	神 經 科 精 神 科	小 児 科
放 射 線 科	麻 酔 科 蘇 生 科	齒 科 口 腔 外 科

中央診療施設等

検 査 部	生 理 検 査 係	血 液 検 査 係
手 術 部	化 学 検 査 係	病 理 検 査 係
放 射 線 部	細 菌 検 査 係	血 清 検 査 係
材 料 部	特 殊 検 査 係	検 査 情 報 係
輸 血 部	一 般 エ ッ ク ス 線 撮 影 部 門	
救 急 部	エ ッ ク ス 線 断 層 撮 影 部 門	
集 中 治 療 部	コ ン ピ ュ ー タ 撮 影 及 び 画 像 処 理 部 門	
総 合 診 療 部	特 殊 エ ッ ク ス 線 撮 影 部 門	
医 療 情 報 部	放 射 線 治 療 部 門	
光 学 医 療 診 療 部	核 医 学 診 療 部 門	
医 療 福 祉 支 援 セ ン タ ー	病 理 部	
生 体 支 援 セ ン タ ー	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 部	
人 工 腎 室	医 療 機 器 セ ン タ ー	
共 通 R I 検 査 室	治 験 管 理 セ ン タ ー	
分 娩 部	卒 後 臨 床 研 修 セ ン タ ー	

薬 剂 部

薬 務 係	外 来 調 剤 係	入 院 調 剤 係
製 剤 係	薬 品 試 験 係	麻 薬 係
薬 品 情 報 係		

看 護 部

管 理 部 門	病 棟 部 門
外 来 部 門	中 央 診 療 施 設 等 部 門

[注] 中央診療施設等の□□内は院内措置

目 次

序文

医学部・同附属病院の将来構想	
1 医学部医学科及び医学研究科	1
2 医学部看護学科	2
3 医学部附属病院	5
医学部医学科	
1 教育・研究の理念・目標等	
1. 教育・研究の理念と目標	9
2. 教育・研究の活性化と充実の経過	9
3. 教育・研究の将来構想	9
(1) 基本理念	
(2) 教育体制	
(3) 研究体制	
2 教育活動	
1. 学生の受入れ	14
(1) 学生募集の方法	
(2) 入学者選抜の方法と方針	
(3) 学生の受入状況	
(4) 編入学制度と実態	
(5) 研究生の受入れと実態	
2. カリキュラム	16
(1) カリキュラムの編成方針	
(2) 教育活動の実施内容と方法	
(3) 課題と展望	
3. 教育方針	20
(1) 教育改革	
(2) 全学共通教育	
(3) 専門教育	
テュートリアル教育	
臨床実習	
新入生合宿研修	
5年生合宿研修	
臨床実習資格総合判定試験	
(4) 他大学における授業科目の履修の方針と状況	
(5) 在籍，留年，休学，退学の状況	
(6) 教育施設・設備の現状	
(7) 成績の評価，認定の基準	
(8) 医師国家試験合格状況	
(9) 寄附講座	
4. 学生生活への配慮	28
(1) 奨学金の種類と採択状況	
(2) 授業料の免除の状況	
(3) 学生生活相談の体制と実態	
(4) 課外活動の実態	
3 研究活動	
1. 生命細胞医科学講座	31
(1) 細胞情報学分野	32
(2) 分子病態学分野	35

(3) 薬理病態学分野	36
(4) 腫瘍病理学分野	40
(5) 腫瘍総合外科学分野	44
2. 高次情報統御学講座	48
(1) 蛋白高次機能学分野	49
(2) 神経高次機能学分野	53
(3) 神経・老年学分野	55
(4) 精神行動学分野	58
(5) 脳神経外科学分野	61
(6) 平衡・耳鼻咽喉科学分野	65
(7) 眼科学分野	67
3. 臓器病態学講座	73
(1) 生体構造学分野	74
(2) 生理機能学分野	76
(3) 消化器病態学分野	78
(4) 高度先進外科学分野	87
(5) 運動器外科学分野	90
(6) 泌尿器病態学分野	94
(7) 女性生殖器学分野	100
(8) 口腔病態学分野	110
4. 免疫アレルギー内分泌学講座	115
(1) 免疫病理学分野	116
(2) 感染制御学分野	118
(3) 内分泌代謝病態学分野	120
(4) 小児病態学分野	126
(5) 皮膚病態学分野	144
(6) 病原体遺伝情報学分野	148
5. 総合病態・予防医学講座	149
(1) 麻酔・蘇生学分野	150
(2) 疫学・予防医学分野	154
(3) 法医学分野	156
(4) スポーツ医科学分野	158
(5) 臨床検査医学分野	160
(6) 放射線・腫瘍・画像医学分野	165
(7) 救急・災害医学分野	168
(8) 産業衛生学分野	169
6. 寄附講座	
(1) 東洋医学講座(ツムラ)	171
(2) 遺伝子治療再生医科学講座(フェロー)	173
7. 大学院医学研究科再生医科学専攻	
(1) 再生分子統御学講座	
組織・器官形成統御部門	174
高次神経・反射部門	175
微生物・バイオインフォマテイクス部門	177
(2) 再生工学講座	
生命機能分子設計部門	181
知能イメージ情報部門	183
(3) 再生応用・倫理学講座	
再生応用(循環器内科学)部門	189
倫理・社会医学部門	194

8. 附属病院中央診療施設等	
輸血部	196
救急部	197
集中治療部	199
総合診療部	200
医療情報部	203
光学医療診療部	205
病理部	206
薬剤部	207
生体支援センター	209
9. 医学教育開発研究センター（全国共同利用施設）	211
4 共同研究・学会等の活動状況	
1. 共同研究・受託研究（国内・外）の実施状況	214
2. 研究費の状況	220
3. 学会等における活動状況	231
4. 本学部における人体解剖の実情	256
5 教官組織	
1. 専任教官と非常勤講師等の配置状況	257
(1) 専任教官の配置状況	
(2) 教官定員と充足率	
(3) 非常勤講師の配置状況	
(4) 客員臨床系医学教授等	
2. 教育補助者と研究補助者の配置状況	257
(1) ティーチング・アシスタントの実施及び活用状況	
(2) リサーチ・アシスタントの配置状況	
3. 採用，昇任等の方法	258
(1) 採用，昇任の選考基準と選考方法	
(2) 非常勤講師の選考基準と選考方法	
4. 兼業の基準と状況	261
(1) 兼業の基準	
(2) 兼業の状況	
5. 医学科の教官人事についての長期計画	261
6. 教官の任期制導入	262
7. 新設講座への対応	262
6 施設・設備	
1. 施設・設備の現状・整備状況	
(1) 医学部・同附属病院移転整備計画	263
2. 施設・設備の安全性の確保	264
7 国際交流	
1. 留学生の受入れ体制と状況	265
2. 留学生の教育・研究指導の方法と体制	265
3. 在学生の海外留学・研修の状況	266
4. 教官の在外研究の状況	266
5. 外国人研究者の招致の状況	267
6. 海外の大学との交流協定の締結状況と活動状況	273
8 社会との連携	
1. 公開講座の開設の方針と状況	274
2. 国・地方公共団体の審議会，委員会等への参加状況	275
3. 地域社会での活動状況	278
4. 生涯学習への対応状況	278

5. 奥穂高岳夏山診療所	279
9 管理運営・財政	
1. 教授会，各種委員会の構成と活動状況	281
(1) 学部教授会，学科教授会議，附属病院科長会議の構成員， 任務，意志決定方法，意志伝達方法	
(2) 各種委員会の設置年度，任務（運営方針），意志決定方法，意志伝達方法	
2. 教育・研究に関する意志決定方法と体制	285
(1) 教育に関する意志決定システム	
(2) 研究に関する意志決定システム	
3. 事務組織と事務職員の配置状況	285
(1) 現状	
(2) 点検・評価	
(3) 改善・改革と展望	
4. 予算編成と執行（配分）の方針と状況	287
大学院医学研究科	
1 大学院教育について（医科学専攻）	
1. 医科学専攻の教育・理念・目標	289
2. 医科学専攻の構成	289
(1) 構造機能医科学領域	
(2) 病態制御医科学領域	
(3) 統合情報医科学領域	
3. 学生定員と入学状況	290
4. カリキュラムの編成方針	290
(1) 履修基準	
(2) 教育研究分野，指導教官	
(3) 基礎技術トレーニングコース	
(4) 大学院特別講義	
5. 教育・研究活動	297
(1) 教育・研究活動の実施内容と方法	
(2) 学位の授与状況と研究成果	
(3) 課題と展望	
2 大学院教育について（再生医科学専攻）	
1. 再生医科学専攻の教育・理念・目標	300
2. 再生医科学専攻の構成	300
(1) 再生分子統御学講座	
(2) 再生工学講座	
(3) 再生応用・倫理学講座	
3. 学生定員と入学状況	301
4. カリキュラムの編成方針	301
(1) 教育体系	
(2) 履修基準	
(3) 教育研究分野，指導教官	
(4) 基礎技術トレーニングコース	
(5) 大学院特別講義	
5. 教育・研究活動	305
(1) 教育・研究活動の実施内容と方法	
(2) 課題と展望	
6. 学生生活支援	307
(1) 奨学金の申請・採択状況	
(2) 授業料免除実施状況	

医学部看護学科

1	教育・研究の理念・目標等	
1.	教育・研究の理念と目標	309
2.	教育・研究の活性化と充実の経過	309
3.	教育・研究の将来構想	309
	(1) 基本理念	
	(2) 教育体制	
	(3) 研究体制	
2	教育活動	
1.	学生の受入れ	311
	(1) 学生募集の方法	
	(2) 入学者選抜の方法と方針	
	(3) 学生の受入れ状況	
	(4) 編入学制度と実態	
	(5) 研究生の受入れと実態	
2.	カリキュラム	313
	(1) カリキュラムの編成方針	
	(2) 教育活動の実施内容と方法	
	(3) 課題と展望	
3.	教育方針	314
	(1) 教育改革	
	(2) 全学共通教育	
	(3) 専門教育	
	テュートリアル教育	
	臨床実習	
	(4) 他大学における授業科目の履修の方針と状況	
	(5) 在籍，留年，休学，退学の状況	
	(6) 教育施設・設備の現状	
	(7) 成績の評価，認定の基準	
	(8) 看護師国家試験合格状況	
4.	学生生活への配慮	317
	(1) 奨学金の種類と採択状況	
	(2) 授業料の免除の状況	
	(3) 学生生活相談の体制と実態	
	(4) 課外活動の実態	
3	研究活動	
1.	基礎看護学講座	
	(1) 基礎看護学分野	319
	(2) 健康援助学分野	322
2.	母性看護学講座	
	(1) 母性看護学分野	324
	(2) 小児看護学分野	325
3.	成人・老年看護学講座	
	(1) 成人看護学分野（慢性）	327
	(2) 成人看護学分野（急性）	328
	(3) 老年看護学分野	330
4.	地域・精神看護学講座	
	(1) 地域看護学分野	332
	(2) 精神看護学分野	334

4	共同研究・学会等の活動状況	
1.	共同研究・受託研究（国内・外）の実施状況	336
2.	研究費の状況	336
3.	学会等における活動状況	337
5	教官組織	
1.	教官人事についての長期計画	338
6	施設・設備	
1.	施設・設備の現状・整備状況	338
	（1）新校舎について	
7	社会との連携	
1.	国・地方公共団体の審議会，委員会等への参加状況	339
2.	地域社会での活動状況	339
3.	生涯学習への対応状況	339
8	管理運営・財政	
1.	教授会，各種委員会の構成と活動状況	341
	（1）看護学科教授会議の構成員，任務，意志決定方法，意志伝達方法	
	（2）看護学科内各種委員会の設置年度，任務（運営方針），意志決定方法，意志伝達方法	
2.	教育・研究に関する意志決定方法と体制	341
	（1）教育に関する意志決定システム	
	（2）研究に関する意志決定システム	
3.	予算編成と執行（配分）の方針と状況	342
	附属病院における診療活動等の状況	
1	活動状況	
（1）	第一内科	343
（2）	第二内科	344
（3）	第三内科	345
（4）	高齢科	346
（5）	第一外科	347
（6）	第二外科	348
（7）	産科婦人科	349
（8）	整形外科	350
（9）	脳神経外科	350
（10）	眼科	351
（11）	耳鼻咽喉科	352
（12）	皮膚科	353
（13）	泌尿器科	354
（14）	神経科精神科	355
（15）	小児科	355
（16）	放射線科	356
（17）	麻酔科蘇生科	357
（18）	歯科口腔外科	358
（19）	検査部	359
（20）	手術部	360
（21）	放射線部	361
（22）	材料部	362
（23）	輸血部	362
（24）	救急部	363
（25）	集中治療部	364
（26）	総合診療部	365
（27）	医療情報部	366

(28)光学医療診療部	368
(29)人工腎室	368
(30)病理部	369
(31)リハビリテーション部	369
(32)治験管理センター	370
(33)薬剤部	371
(34)看護部	372
(35)生体支援センター	373
(36)医療福祉支援センター	374
(37)東洋医学	376
2 診療スタッフ	377
(1)診療要員の設置状況	
(2)診療支援要員	
(3)看護要員	
3 高度先進医療	377
4 地域医療の取り組み	377
5 卒後臨床研修の方針と状況	379
(1)医員(研修医)について	
(2)医員について	
(3)卒後臨床研修必修化の対応	
6 外来患者数及び入院患者数	380
(1)外来患者数	
(2)入院患者数及び病床稼働率	
7 診療用施設・設備の整備	381
8 医療収入	381
9 病院経営企画会議	381
10 各種療法等の届出状況	382
11 エイズ拠点病院としての診療体制	383
12 院内感染対策	384
13 院内学級	385
14 入院基本料・給食の状況	385
(1)入院基本料	
(2)入院時食事療法	
15 病院ボランティア	385
16 院内図書室	386
17 医薬品臨床試験の実施方針	386
自己評価体制	
1 自己評価を行うための組織	387
2 自己評価の公表とフィードバック	387
附) 大学評価・学位授与機構による「平成12年度着手の大学評価の評価結果」	
1 「医学系(医学)」教育評価報告書(岐阜大学医学部)	391
2 「医学系(医学)」教育評価報告書(岐阜大学大学院医学研究科)	400